

ME 育成 講座

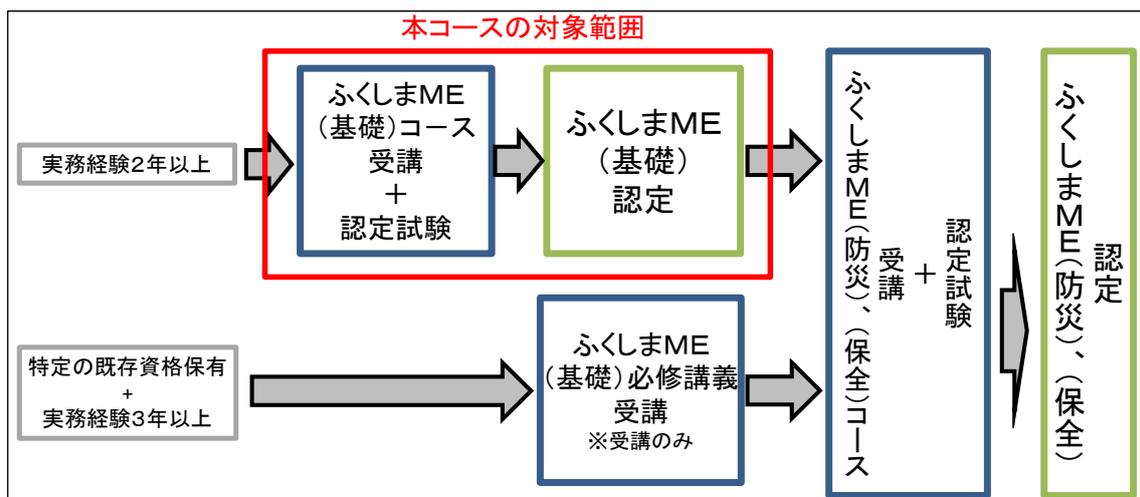
第7回「ふくしまME（基礎）コース」

募集要項

ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会

- ・申請書受付期間：2022年3月28日（月）～2022年4月15日（金）
- ・受講者選抜結果通知発送：2022年5月9日（月）
- ・受講料払込期間：2022年5月9日（月）～2022年5月20日（金）
（期日厳守）
- ・実施場所：福島県農業総合センター（郡山市日和田町高倉）ほか
なお、現地実習は福島市内（信夫橋）を予定。
- ・育成講座：1日目 2022年 6月 2日（木）
2日目 2022年 6月 9日（木）
3日目 2022年 6月16日（木）
4日目 2022年 6月23日（木）
5日目 2022年 7月 2日（土）
- ・認定試験：2022年 7月 7日（木）（予定）
- ・認定試験合格者決定：2022年8月上旬

○本コースを受講し、「ふくしまME（基礎）」の認定を受け、かつ3年以上の実務経験を有することで、「ふくしまME（防災）コース」及び「ふくしまME（保全）コース」を受講することができます。



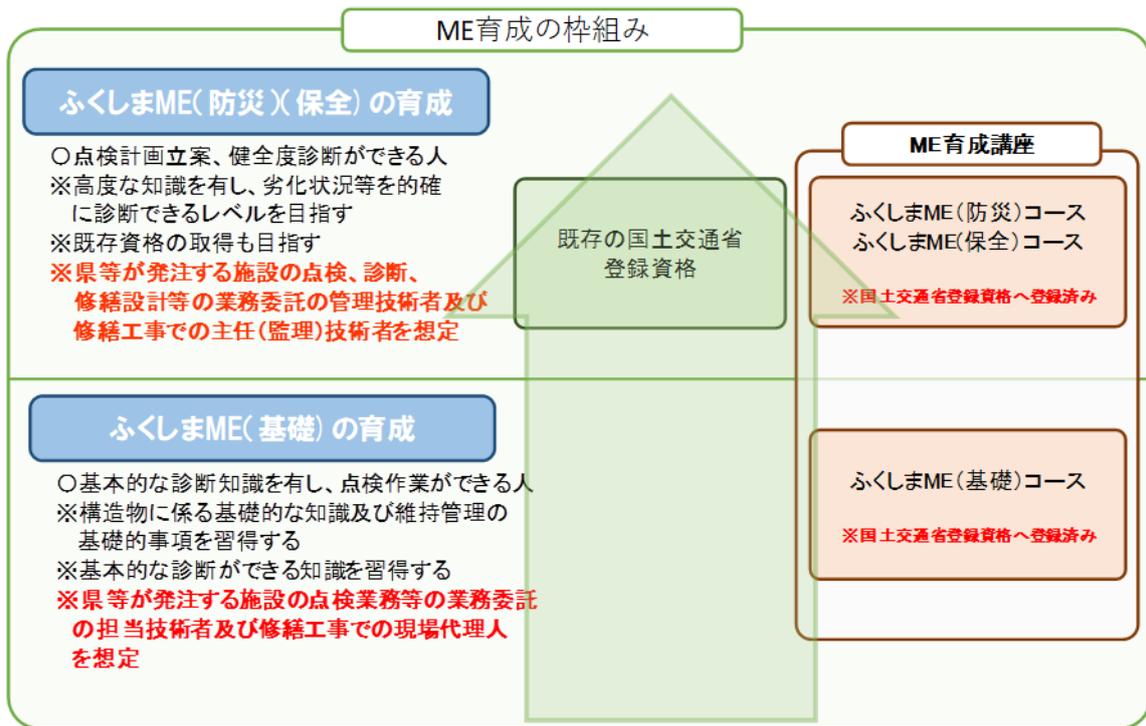
※特定の既存資格を保有し、かつ3年以上の実務経験を有する者は、別に募集する「ふくしまME（基礎）必修講義」を受講することにより、「ふくしまME（防災）コース」及び「ふくしまME（保全）コース」を受講する資格を得ることができます（詳細はP8参照）。

ME 育成講座の目的と意義

道路や河川等の社会インフラは、豊かな国民生活の実現や個性豊かな地域社会の形成等に欠かせない国民の貴重な財産です。これらの多くは、高度経済成長期に集中的に整備されたため、今後急速に耐用年数を迎えることから、その維持・修繕、更新が全国的な課題となっています。また、少子高齢化が急激に進み、行政を始め、地域の建設業やコンサルタントに携わるメンテナンス技術者の人材不足も深刻となっています。

このような中、2017年1月12日「福島県建設業審議会」の答申において、「インフラメンテナンス技術者育成・確保に関する産学官による連携強化」について明記され、インフラメンテナンス技術者育成に積極的に取り組む必要があることが報告されました。

これらを受け、本協議会では、「地域のインフラは、地域自らが守る」考えの下、福島県の地域特性を把握するとともに、橋梁、トンネル、舗装、斜面、河川構造物、防災施設等、社会インフラ全般に係る各種点検やメンテナンスに関する専門的かつ実践的な知識を有し、社会インフラマネジメントの中核となる技術者を安定的に育成することを目的として、図-1に示すように「ふくしまME（基礎）コース」、「ふくしまME（防災）コース」及び「ふくしまME（保全）コース」を実施しています。



ME「メンテナンスエキスパート」構造物等の維持管理に関する高度な知識を持ち、劣化状態等を的確に診断し対処できる技術者を意味する。

図-1 ME 育成の枠組み

基礎から応用にわたり多くの技術者の育成に取り組むことにより、社会インフラの品質確保に努め、県民の安全・安心に貢献していくこととしております。

なお、各コースは、国土交通省の「公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格」に登録されております。

●『ふくしまME(基礎)』が登録された区分(平成31年1月31日付け)

登録番号	資格が対象とする区分		
	施設分野	業務	知識・技術を求める者
第252号	橋梁 (鋼橋)	点検	担当技術者
第256号	橋梁 (コンクリート橋)	点検	担当技術者
第263号	トンネル	点検	担当技術者
第265号	道路土工構造物 (土工)	点検	担当技術者
第286号	舗装	点検	担当技術者

●『ふくしまME(防災)』が登録された区分(令和2年2月5日付け)

登録番号	登録区分		
	施設分野	業務	知識・技術を求める者
第293号	トンネル	点検	担当技術者
第294号		診断	担当技術者
第301号	道路土工構造物 (土工)	点検	担当技術者
第306号		診断	担当技術者
第311号	道路土工構造物 (シェッド・大型カルバート等)	点検	担当技術者
第314号		診断	担当技術者

●『ふくしまME(保全)』が登録された区分(令和2年2月5日付け)

登録番号	登録区分		
	施設分野	業務	知識・技術を求める者
第289号	橋梁 (鋼橋)	点検	担当技術者
第290号		診断	担当技術者
第291号	橋梁 (コンクリート橋)	点検	担当技術者
第292号		診断	担当技術者
第316号	舗装	点検	担当技術者
第318号		診断	担当技術者

【参考：公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格】※国土交通省HPより
国土交通省では、一定水準の技術力等を有する民間資格を「国土交通省登録資格」として登録する制度を平成26年度より導入している。

第7回「ふくしまME（基礎）コース」の概要及び実施スケジュール

本コースは、公共土木施設に関して基本的な診断知識を有し、点検作業ができる技術者「ふくしまME（基礎）」の育成を図るものです。

内容は、5日間の「講義＋実習」と半日間の「認定試験」の5.5日間で構成され、講義から認定試験までを一貫して行います。なお、講義及び実習のみ受講することは原則として認めません。

第7回の実実施スケジュール及び講義等は下記のとおりです。

第7回「ふくしまME（基礎）コース」実施スケジュール

※講義時間及び担当講師は、変更となる場合があります。

	研修会場	講義時間	講 義 内 容		講 師（担当団体等）	
1日目 6月2日 (木) 概説、 共通、 保安；構造	福島県農業総合センター	9:30～9:40	共通－1	ME研修の意義、実施要領説明	福島県、事務局	
		9:40～11:00	共通－2	福島県の社会基盤施設の維持管理概要	福島県	
	郡山市日和田 多目的ホール	11:10～12:40	共通－3	福島県の地形・地質	(一社)福島県地質調査業協会	
		13:30～15:00	保構－1	舗装維持管理の基礎	日本大学工学部 前島拓助教	
		15:10～16:40	保構－2	トンネル維持管理の基礎	(一社)建設コンサルタンツ協会東北支部	
2日目 6月9日 (木) 防災 保安；橋梁	福島県農業総合センター	9:20～10:30	防災－1	斜面崩壊・落石の概論	日本大学工学部 中村晋上席研究員	
		10:40～12:00	防災－2	点検と防護の基礎	(公社)日本技術士会東北本部福島県支部	
	郡山市日和田 多目的ホール	12:50～13:50	防災－3	盛土・基礎地盤の崩壊・変形の概論	日本大学工学部 仙頭紀明教授	
		14:00～15:10	防災－4	盛土・基礎地盤の点検基礎と対策	(公社)日本技術士会東北本部福島県支部	
		15:20～16:40	保橋－1	構造力学/鋼橋の基礎	日本大学工学部 笠野英行准教授	
3日目 6月16日 (木) 保安；橋梁	福島県農業総合センター	9:20～10:40	保橋－2	コンクリート橋の基礎	日本大学工学部 子田康弘教授	
		郡山市日和田	10:50～12:10	保橋－3	橋梁メンテナンスの概論と福島県橋梁管理の基礎	日本大学工学部 岩城一郎教授
	多目的ホール	13:00～14:00	保橋－4	部材劣化の基礎 (1)	インフラ長寿命化研究会	
		14:10～15:10	保橋－4	部材劣化の基礎 (2)	インフラ長寿命化研究会	
		15:20～16:40	保橋－5	コンクリート橋の損傷	インフラ長寿命化研究会	
4日目 6月23日 (木) 保安；橋梁	福島県農業総合センター	9:30～10:50	保橋－6	鋼橋の損傷	インフラ長寿命化研究会	
		郡山市日和田	11:00～12:20	保橋－7	点検・診断の基礎 (1)	インフラ長寿命化研究会
	多目的ホール	13:10～14:30	保橋－7	点検・診断の基礎 (2)	インフラ長寿命化研究会	
		14:40～16:00	保橋－8	補修・補強の基礎	インフラ長寿命化研究会	
5日目 7月2日 (土) 保安；橋梁	実習(福島市内信夫橋) 福島県建設センター	9:00～12:00	A班	保橋－9	補修事例橋梁の実習	日本大学工学部 子田康弘教授 笠野英行准教授
		13:00～14:45		保橋－10	意見交換会	
	福島市五月町	12:00～15:00	B班	保橋－9	補修事例橋梁の実習	インフラ長寿命化研究会
		15:15～17:00		保橋－10	意見交換会	他
6日目 7月7日	調整中 予定	10:00～12:30	認定試験	—	—	

ME 育成講座
第7回 「ふくしまME（基礎）コース」 募集内容

1. 募集人員

100名程度

2. 受講費用等

受講料（受験料含む） 100,000円

（ただし、ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会に参画する団体又は行政機関に属する者は、50,000円とする。）

なお、受講者決定通知後に参加をキャンセルした場合、育成講座の途中で欠席となった場合でも受講料は返還いたしません。

3. 受講資格

受講申請者は、下記のいずれかに該当する必要があります。

(1) 官公庁土木技術者等（関係団体の土木関係職員含む）

官公庁の土木技術者等で、社会インフラの維持管理又は整備に関し2年以上の実務経験を有する者。

(2) 民間建設関連業土木技術者

① コンサルタント業務

社会インフラの調査、測量又は設計に関し2年以上の実務経験を有する者。

② 施工業務

社会インフラの施工又は管理に関し2年以上の実務経験を有する者。

③ その他

上記①、又は②と同等と認められる者。

(3) 現在の所属機関のみでは(1)又は(2)の要件を満たしていない土木技術者等

複数の所属機関での実務経歴がある場合は、新旧の所属機関で実施した合計の経験年数を2年以上有する者。

4. 受講申請手続き

(1) 申請期間

2022年3月28日（月） ～ 2022年4月15日（金）

(2) 提出方法

ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会事務局まで、上記の申請期間内に下記の書類毎に提出してください。

(3) 提出書類

① 受講申込書（ホームページから送信願います。）

官公庁土木技術者等、民間建設関連業土木技術者とも、（様式1）に記入。

② 証明写真（①の受講申込書に「画像取込」し送信願います。）

申請3ヵ月以内に撮影したカラーの顔写真（JPG）、無帽、正面向き、縦型10:8、2MB以内。

③ 実務経歴書（ホームページから申込書送信後に返信された様式を印刷し押印のうえファックスにて送信願います。）

ア 官公庁土木技術者等

受講資格を確認するため、（様式2）に記入。なお、自分より上位の管理職の職名・氏名を記入し、押印したものを提出すること。

イ 民間建設関連業土木技術者

受講資格を確認するため、（様式3）に記入。

なお、現所属企業の会社名、代表者名を記入し、代表者印を押印したものを提出すること。

また、受講資格を満たすため現在の所属企業以外での実務経歴も必要な場合には、旧所属企業分についても（様式3）により旧所属の会社名、代表者名を記入し、旧所属の代表者印を押印したものを併せて提出すること。

（注）個人及び事業主の方が、自分で自分の経歴を証明することは出来ません。

第三者（組合や元請け又は同業者等）から、証明を頂いてください。

（4）提出先

ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会

E Mail : info@fukushima-infra-maintenance.jp

URL : <https://www.fukushima-infra-maintenance.jp/>

住所 〒960-8061 福島県福島市五月町4番25号（福島県建設センター6階）

ファックス番号 024-523-1729

5. 受講者の選抜

（1）選抜方法

受講申請書類に基づき厳正に審査し、受講者を選抜します。

なお、応募者多数の場合は、応募者の所属先、地域性等を考慮して、受講者を選抜します。

（2）選抜結果の通知

5月9日付けで、選抜結果をメールにより本人宛に通知予定です。

なお、この日より1週間を経過しても選抜結果通知書が届かない場合には、事務局までお問い合わせください。

（注）選抜結果通知の際、受講料納付方法についてお知らせしますが、指定した期

日までに受講料の入金がない場合には、受講できませんのでご注意願います。

6. 個人情報の取扱い

提出された申込書等に記載された氏名、生年月日、住所、電話番号等の個人情報は、ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会事務局が責任をもって管理します。

7. 受講修了、認定等について

(1) 受講修了証の交付

本コースの全課程を受講した者に対し、受講修了証を交付します。

なお、レポート課題等の未提出が一部でもあった場合や、遅刻、欠席が一部でもあった場合には、原則として受講修了証は交付しません。

ただし、不可避の理由^(※1)による遅刻、欠席^(※2)の場合のみ、次回のME育成講座「ふくしまME（基礎）コース」（以下、「次回基礎コース」という。）において、受講できなかった講義を一度のみ受講料免除の上受講でき、受講することで本コースの全課程を受講したものとして受講修了証を交付します。

※1 不可避の理由：3親等以内の忌引き、不慮の事故などの場合で、「欠席（遅刻）理由届」（様式4）を提出する必要があります。

※2 欠席が2日を超える場合を除きます。

(2) 認定試験

本コースの受講修了証の交付を受けた者のみ、認定試験を受けることができます。

なお、今回の認定試験において下記①～③に該当する者は、次回基礎コースの認定試験を一度のみ受験することができます。さらに、下記①及び②に該当する者については、次回基礎コースの受講を免除します。

- ① 認定試験において不合格となった者（受験料5,000円）
- ② 受講修了証の交付を受けたが受験できなかった者（受験料 無料）
- ③ 不可避の理由により遅刻、欠席した者で、次回基礎コースを受講し受講修了証の交付を受けた者（受験料 無料）

(3) 認定証の交付

認定試験後、審査委員会、協議会の審議を経て、試験に合格した者には「ふくしまME（基礎）」の認定証を交付します。

なお、認定証の有効期間は、5年間（更新制）とします。

(4) 合格者の発表

2022年8月上旬に、合格者の受講番号をふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会HP上に掲載するとともに、「ふくしまME（基礎）」の認定証を本人宛に郵送します。

8. CPDプログラムについて

本コースはCPD（公益社団法人土木学会）、CPDS（一般社団法人全国土木施工管理技士会連合会）プログラムの認定を申請する予定です。

9. その他

(1) 次回基礎コースは、2023年度上半期に開催する予定です。

(2) 2022年度は、高度な知識を有し、公共土木施設の点検・計画・立案、及び健全度診断が的確にできる技術者の育成を図るための「ふくしまME（防災）コース^(※3)」及び「ふくしまME（保全）コース^(※4)」を実施する予定であり、受講要件については下記①または②のいずれかを満たす者となります。

① 「ふくしまME（基礎）」の認定を受け、かつ3年以上の実務経験^(※5)を有していること。

② 「別表1 ふくしまME（基礎）コースの一部科目を免除する既存資格」（P9）に掲げる資格を保有し、かつ3年以上の実務経験^(※5)を有しており、さらに、別に募集する「ふくしまME（基礎）必修講義」^(※6)の受講修了証の交付を受けていること。

※3 自然斜面及び地盤変状に伴う作用により影響を受ける構造物等を対象とします。

※4 外的要因により部材劣化が生じるコンクリート・鋼構造等（主に橋梁）を対象とします。

※5 必要な実務経験は、下記のとおりです。

① 官公庁土木技術者等（関係団体の土木関係職員含む）

官公庁の土木技術者等で、社会資本の維持管理業務、または、設計・計画、監督業務を3年以上経験している者。

② 民間建設関連業土木技術者

社会資本の点検・調査、新設・補修・補強に関わる設計・施工管理業務を主体的な立場で3年以上経験している者。

※主体的な立場とは、委託業務は担当技術者、施工管理業務は現場代理人などを指す。

③ 現在の所属機関のみでは上記①及び②の要件を満たしていない土木技術者等

複数の所属機関での実務経歴がある場合は、新旧の所属機関で実施した合計の経験年数を3年以上有する者。

※6 第7回「ふくしまME（基礎）必修講義」の受講を希望する場合は、別途募集要項により申込みを行ってください。（P1の対象範囲図参照）

10. 問合せ先

〒960-8061 福島県福島市五月町4番25号（福島県建設センター6階）

（一社）福島県測量設計業協会内

ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会 事務局

TEL：024-563-1321 又は 024-523-1728

URL：<http://www.fukushima-infra-maintenance.jp/>

別表1 ふくしまME(基礎)コースの一部科目を免除する特定資格

	部門、資格名称	実施主体
技術士	建設(全ての専門科目) 応用理学(地質)	文部科学省
国土交通省登録民間資格 ※維持管理分野の診断に登録があるもの	海洋・港湾構造物維持管理士	一般財団法人 沿岸技術研究センター
	都市道路構造物点検技術者	一般財団法人 首都高速道路技術センター
	点検診断士	一般財団法人 阪神高速道路技術センター
	主任点検診断士	一般財団法人 阪神高速道路技術センター
	地すべり防止工事士	一般社団法人 斜面防災対策技術協会
	土木鋼構造診断士	一般社団法人 日本鋼構造協会
	一級構造物診断士	一般社団法人 日本構造物診断技術協会
	河川技術者資格(河川維持管理技術者)	一般財団法人 河川技術者教育振興機構
	河川技術者資格(河川点検士)	一般財団法人 河川技術者教育振興機構
	構造物保全上級技術者	一般社団法人 国際建造物保全技術協会
	舗装診断士	一般社団法人 日本道路建設業協会
	構造物の補修・補強技師	一般社団法人 リペア会
	のり面施工管理技術者資格	一般社団法人 全国特定法面保護協会
	道路標識点検診断士	一般社団法人 全国道路標識・標示業協会
	コンクリート構造診断士	公益財団法人 プレストレストコンクリート工学会
	砂防・急傾斜管理技術者	公益社団法人 砂防学会
	コンクリート診断士	公益社団法人 日本コンクリート工学会
	高速道路点検診断士(土木)	公益財団法人 高速道路調査会
	四国社会基盤メンテナンスエキスパート	国立大学法人 愛媛大学
	社会基盤メンテナンスエキスパート	国立大学法人 岐阜大学
	道守コース	国立大学法人 長崎大学
	特定道守コース	国立大学法人 長崎大学
	橋梁診断士	国立大学法人 名古屋大学
	社会基盤メンテナンスエキスパート山口	国立大学法人 山口大学
RCCM ※技術士の建設部門に含まれる科目及び応用理学部門(地質)に該当する部門	河川、砂防及び海岸・海洋	一般社団法人 建設コンサルタンツ協会
	港湾及び空港	
	電力土木	
	道路	
	鉄道	
	都市計画及び地方計画	
	地質	
	土質及び基礎	
	鋼構造及びコンクリート	
	トンネル	
	施工計画、施工設備及び積算	
	建設環境	
土木学会認定土木技術者	特別上級土木技術者	
	上級土木技術者	
	1級土木技術者	

(注)一級土木施工管理技士は、特定資格に該当しませんので注意してください。

(様式1)

ME育成講座 第7回 「ふくしまME(基礎)コース」 受講申込書

申込み年月日 令和4年 月 日

フリガナ 氏名				jpgまたはjpeg 2MB以内 カラー顔写真 縦型10:8 を使用して下さい。
生年月日	昭和・平成 年 月 日(満 歳)			
現住所	〒 -			
電話番号	TEL:		携帯:	
勤務先				
勤務先住所	〒 -			
	TEL:		FAX:	
連絡用 E-Mail				
勤務先の所属 団体名	本協議会に参画する団体又は行政機関の方は次の中から一つを選択してください。それ以外の方は「その他」を選択してください。 福島県建設業協会 / 福島県測量設計業協会 / 福島県地質調査業協会 / 福島県法面保護協会 / ふくしまインフラ長寿命化研究会 / 日本技術士会東北本部福島県支部 / 福島県土木施工管理技士会 / ふくしま市町村支援機構 / 福島県 / 福島県内市町村			
最終学歴	年 月	学校・学部・学科		
	昭和 平成 令和 年 月			
土木に関する職歴	年 月	所 属		
7行まで入力可	昭和 平成 令和 年 月			
延べ経験年数	昭和 平成 令和 年 月			
	昭和 平成 令和 年 月			
	昭和 平成 令和 年 月			
土木に関係する 公的資格	年 月	名 称	登録番号等	
	昭和 平成 令和 年 月	(※ 該当する資格を選択してください。)		
	昭和 平成 令和 年 月	該当する資格がない場合は記入不用です。)		
5行まで入力可	昭和 平成 令和 年 月			

(様式1)

記入例

ここには何も記入しないこと

ME育成講座 第7回 「ふくしまME(基礎)コース」 受講申込書

申込み年月日 平成 4 年 月 日

フリガナ 氏名	フクシマ タロウ 福 島 太 郎		※姓と名の間は 一字空けること	jpgまたはjpeg 2MB以内 カラー顔写真 縦型10:8 を使用して下さい。
生年月日	平成 ○○年 ◆◆月 △△日(満●●歳)			
現住所	〒000-0000 ○○市 △町 字 ○○○番地			
電話番号	TEL:000-0000-0000 携帯:090-0000-0000			
勤務先	(株)○○○○建設 △部 / 福島県○○建設事務所 △部 等 ※所属部名まで記入のこと。			
勤務先住所	〒000-0000 ○○市 ◆町 字 ●●●●番地 TEL:000-111-2222 FAX:000-333-4444			
連絡用 E-Mail	(※ このアドレスに、受講決定通知など重要事項を連絡します。)			
勤務先の所属 団体名	その他			
最終学歴	年 月	学 校 ・ 学 部 ・ 学 科		
	平成 ●●年 ●●月	○○大学 ◆◆学部 △△科		
土木に関する職歴 7行まで入力可 延べ経験年数 年 ヶ月	年 月	所 属		
	平成 ●●年 ●●月	(株)○○○○建設 採用		
	平成 ●●年 ●●月	(株)○○○○建設 ○○課		
	平成 ●●年 ●●月	(株)○○○○建設 ○○課 主任		
	平成 ●●年 ●●月	(株)○○○○建設 採用		
	令和 ●●年 ●●月	(株)○○○○建設 ○○課		
	令和 ●●年 ●●月	(株)○○○○建設 ○○課 主任		
	令和 ●●年 ●●月	(株)○○○○建設 ○○課 課長 ← ※最後は現在の所属		
土木に関係する 公的資格 5行まで入力可	年 月	名 称	登録番号等	
	平成 ●●年 ●●月	一級土木施工管理技士	C012345678	
	令和 ●●年 ●●月	測量士	第R02-1234号	

(様式2)

記入例

ここには何も記入しないこと

ME育成講座 第7回「ふくしまME(基礎)コース」

— 実務経歴書 —

受講申込者氏名 ● ● ● ●

◆ 土木に関する主要な実務経歴書 (官公庁土木技術者等の経験証明用) ◆

所属	職名(担当)	関係実務	勤務期間	
〇〇建設事務所〇〇部〇〇課	技師(設計・管理担当)	道路・河川管理	H〇.〇~R〇.〇	1年6ヵ月
土木部〇△課	副主査(管理担当)	河川管理	R〇.〇~R〇.〇	1年
土木部◆◆課	主査(管理担当)	道路管理	R〇.〇~R〇.〇	1年

※ 重複期間を除いた合計2年以上の実務経歴を記入すること。
現職場のみでは実務経歴が2年以上とまらない場合には、
従前の実務経歴を加えて記載すること。

※自分より上位の管理職の役職名・氏名
を記入し、押印する。

※計 3 年 6 ヵ月

す。 令和 00年 00月 00日

役職名 ○ △ 課 長

氏 名 ○ ○ ○ ○ 印

(様式3)

記入例

ここには何も記入しないこと

ME育成講座 第7回「ふくしまME(基礎)コース」

— 実務経歴書 —

受講申込者氏名 ■ ■ ■ ■

◆ 土木に関する主要な実務経歴書 (民間建設関連業土木技術者の経験証明用) ◆

業務名	受注者名	関係実務	発注者名	勤務期間	
平成〇年度〇〇線道路橋 梁整備工事	株〇〇建設	施工管理(道路 改良)	〇建設事務所	H〇.〇~R〇.〇	8ヵ月
平成◆年度◆◆線道路橋 梁整備工事	株〇〇建設	施工管理(橋梁 補修)	△建設事務所	H〇.〇~R〇.〇	1年6ヵ月
令和△年度△△川筋測量 設計業務委託	株△△測量設計	担当技術者(河 川護岸)	◆市役所	R〇.〇~R〇.〇	1年6ヵ月

※ 社会インフラの整備又は修繕、補修の「調査、測量、設計、施工、施工管理」に関し、
重複期間を除いた合計2年以上の実務経歴を記入すること。
なお、受講資格を満たすため以前に所属した企業分の実務経歴書も併せて提出する必要
がある場合は、その代表者が押印した実務経歴書を合わせて提出すること。

※ 受注者名毎に作成し、それに対応した代表者として
ください。

※計 3 年 8 ヵ月

上記のとおり相違ないことを証明します。 令和 00年 00月 00日

会 社 名 (株)〇〇建設または(株)△△測量設計

代表者名 ○ ○ ○ ○ 印

※勤務期間のうち、重複期間は合計に含みませんのでご注意ください。